

かけはしがわ

梯川重点区間改修事業の推進 梯川水系梯川（石川県小松市）

安全・安心な地域づくり

- ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している 1.0km～7.6km 迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成20年度の事業内容

平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と近年の洪水では「はん濫危険水位」を超えるなど、危険な状況にあることから、引き続き、重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、用地買収等（水路・市道付替等）、附帯施設（小松大橋、天神水管橋等）の改築等を促進します。

